

学生 対談 学長

テーマ

届けよう！ 私たちの元気・勇気・笑顔

2020年は新型コロナウイルスの流行で、今までとは全く違う生活様式を余儀なくされました。心身ともに大きなストレスを抱える人も少なくはなく、「コロナ疲れ、自粛疲れ」といった言葉も生まれました。そこで「届けよう！私たちの元気・勇気・笑顔」をテーマに、加藤博学長と、各学科を代表する学生が対談を行いました。今回は感染症対策としてオンラインでの開催です。

加藤 博

金城大学短期大学部学長



出身大学：大阪大学
出身大学院：京都府立大学大学院
専門分野：環境農学
趣味：篠笛、香道、鉱物鑑賞

小松 新菜

ビジネス実務学科
メデイカル秘書コース



出身高校：石川県立金沢商業高等学校
趣味：運動
進路：澁谷工業株式会社

吉水 磨衣

幼児教育学科
学友会会長



出身高校：金沢龍谷高等学校
趣味：絵を描くこと 歌うこと
進路：保育教諭

有田 水紅

美術学科
デザイン・ビジネスコース



出身高校：富山第一高等学校
趣味：猫と遊ぶこと
進路：プロダクトデザイン、グラフィックデザイン

小松：考え方、性格がコロナ禍で変わったところがありますか。

学長：1日1日が大切だと思うようになりました。映画とかアニメの設定によくあるように、ある日を境にガラッと状況が変わることが現実にもあるということをおぼろげに感じたからです。

有田：コロナ禍の中で始めたことはありますか？

学長：某動画視聴サービスの契約を始めました。古い映画やアニメもたくさんあるので、徹夜で楽しむこともあります。「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」、「夏目友人帳」などが面白かったです。「鬼滅の刃」も一気に視聴しました。

吉水：逆に変わらず続けた事、極めた事はありますか？

学長：庭仕事、特に草むしりを続けました。一定のリズムで身体を動かしていると、頭が冴えて色々な発想が浮かぶことがあります。金城短大の未来、どこに向かうかなども考えました。大学の草むしりは土日にこっそりしています。周りを気にせず集中できるのがいいですね。

小松：オンデマンド授業を前期に受けました。いつもは90分の授業が、早くて30分～1時間ほどで終わるものもあったため、90分も授業をしなくていいのではないかと感じることがありました。学校教育の変化についてどう思われますか？

学長：すごくいい質問です。これは学校教育の現場でも問題になってきたテーマです。2020年は全国的にオンライン授業が一気に広まりました。動画は倍速で見ることのできるのも、確かにそのような意見はあります。しかし一方で、たくさんの課題が出て、多くの時間を費やしたことでしょう。大学の授業は事前・事後の学習を含めて1回と考えるのです。また、自分のペースで学習できるのはオンデマンドの良いところですが、仲間と一緒に学習しているという感覚が得られにくい。教員と学生の様々なやり取りの中で、発想が広がってどんどん変化していくLIVE感があるのが対面授業の良さです。だから、一緒に学ぶ時間がまったくないというのも良くない。色々な授業形態があると分かってきたので、今後、授業時間は変わることがあるかもしれません。個別最適化されたオンデマンドでの学びと、協働的な学びのバランスをどうとっていくかが課題です。

吉水：私は遠隔授業で一体感が失われたのがストレスでした。1人で戦っている感じで疲れてきて一時期何もやる気が出ないことがありました。テレビでもコロナ鬱と言われていましたが、どう乗り越えたらいいと思いますか？

学長：コロナ以外にもストレスは普段から色々あると思います。それとどうやって付き合っていくかという問題かと思うのですが、結局自分にできることは何かを考えて行動するということだと思います。また、これがあれば前向きになれる何かを持っているのも大事だと思います。今日の青空とか、あぁいいな～と思えるものをキャッチできるようにアンテナを張っておくといいですよ！

有田：今年の目標はなんですか？私は色々な人と接することで、自分と違う価値観に触れて自分を変化させていきたいです。

学長：「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」を観て、僕の知らない美しい世界がいっぱいあると感じました。美しいものをより多く感じるためには、自分の感覚を鍛える必要があります。自分を鍛えて、もっともっと美しいものに触れたいと思います。

小松：学長が思う幸せとは何ですか？私は友達同士で食事に行ったことが、今思うとすごく幸せなことに感じられます。

学長：今日、久しぶりに青空が見えました。それだけで幸せです。道端にすみれの花を見つけたとき、その生命力に感動して幸せになります。これじゃないと幸せじゃない、といった縛りは僕の中にはあまりなくて、日常生活での新しい発見や驚きが自分の心の豊かさに繋がるし、これが私の思う幸せかなと思います。

小松：私も天気がいいとか綺麗なものを見たときに幸せを感じますが、それを言っただけで周りからお気楽人間だと思われたら嫌だと思いついていましたが、学長の話を聞いて安心しました(笑)

学長：人生の目的や意義を聞かれることもあります。日々の小さな発見や驚き、それ自体が僕の生きる目的のように思います。どこか遠いところではなく毎日の生活の中にある。乃木坂46に『命は美しい』という楽曲があって、この私の思いが表現されている気がします。聞いてみてください。

元気・勇気・笑顔になったエピソードはありますか？

学長：まさに昨日のことです。感染症対策強化のなかで、楽しみにしていた会食を泣く泣くキャンセルしました。なかなか予約の取れないお店で、一緒に行く予定の卒業生たちが3か月も前から予約してくれていたんです。キャンセルを伝えて申し訳なく思っていたところ、その卒業生たちからすぐに、「かわりに12月の忘年会の予約を入れた！」と連絡がありました。残念な気持ちをパッと切り替えて前に向かっていく姿勢に感動しました。まさに元気・勇気・笑顔をもらった瞬間でした！

吉水・小松・有田：今日はどうもありがとうございました。

キラキラのキャンパスライフを
歩む学生たちをご紹介します

KINJO WALKER

遊学館高等学校出身
幼児教育学科
菊池 優香



16

周りに支えられ
実現した夢

遊学館高等学校出身
ビジネス実務学科
中村 美琴



17

リーダーで
輝いた2年間

福岡県立工業高等学校出身
美術学科 マンガ・キャラクターコース
道下 彩花



18

描きたいものを
描く勇氣

私は母が保育士だったこともあり、幼い頃から保育士という職業に憧れを持っていました。夢を実現させるために、高校卒業後は金城短大へ入学したいという気持ちが強かったので、高校受験では併設校である遊学館高校を選びました。

高校時代は人前に立つことが苦手でしたが、短大に入学してからは学園祭の実行委員や実習報告会の報告者を務めるなど、自分自身の成長を実感しています。同時に、周りの環境に恵まれていると感じることも多くありました。



短大もクラス制だったので、同じ教室で講義を受け、同じ目標に向かってともに頑張ることのできる存在が身近にいることは、とても心強かったです。居心地の良い居場所でありながら、時にお互いに背中を押し合い、高め合えるような関係は、私にとって大きな支えになりました。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり遠隔授業の日々も続きましたが、連絡を取り合う中で励まし合い、会うことのできない期間であったからこそ、人と人との繋がりの輪を強く実感しました。また、学生と先生の距離が近く、相談しやすいのも金城学園の魅力です。進学・就職の際にもたくさんのアドバイスをいただきました。周りの支えあってこそ自分であると感じています。

金城学園で感じたこの温かな輪を、社会人として保育者として、今度は私から広げていきたいと思っています。



卒業を控えた今、2年間の短大生活を振り返ってみると、とても充実していたと感じます。

入学して一番やってみたいかったことは Shiny Leaders の活動です。私が高校3年時に参加したオープンキャンパスで、スタッフをしていた先輩に憧れ、本校に入学してから「この人と一緒に活動したい!」という気持ちで Shiny Leaders に入りました。私はもともと人前で自分の意見を言ったり話したりすることが苦手で、上手くできるのか不安でしたが、先輩方の姿を見て失敗しても何度も挑戦し成長することができました。

昨年度は Shiny Leaders の研修の一環として、福岡県で行われた「短大フォーラム」という全国の短大生が集まる研修に参加させていただきました。初めて会う方々と交流すること、その場でしか感じることのできない貴重な体験をして、とてもいい刺激を受けました。Shiny Leaders という活動をしていいたからこそ様々な方と出会うことができ、多くのことを学びました。

Shiny Leaders 2年目の今年はコロナ禍ということもあり、通常は行われない Zoom でのオープンキャンパスや感染対策を徹底した対面でのオープンキャンパスを行いました。Zoom では高校生が少しでも楽しめるように企画したり、本学の良さを伝えられるよう学内の様々なところを背景に学生スタッフを撮るなど小さなことにもこだわりを持って取り組みました。また、対面のときには手指消毒の徹底、アクリル板の設置を行い、安全に楽しんでいただけするようにしました。また、来てくれた高校生にはウェットティッシュやマスクケースなど今の生活に必要な物をプレゼントしました。

充実した短大生活だと感じられるもう一つの理由は資格取得です。ビジネス実務学科は、資格対策がとてもしっかりしていました。勉強が苦手で資格が取れるのかすごく心配でしたが、先生方の手厚いご指導により無事取得することができました。金城短大では先生と学生の仲がとても良く、気軽に質問できたので何度も救われました。

この2年間でこんなにもたくさんのことに挑戦しながら学ぶことができとても感謝しています。最初はちょっとした好奇心で始めたことも、今では私の力となり大切な経験になっています。社会人になっても挑戦することを恐れず、そして出会いに感謝していきたいと思っています。



高校ではデザイン科を専攻し、漠然と美術の仕事をしたかった私は、先輩たちも多く行っている金城短大の美術学科に興味がありました。デザイン・ビジネスコースの大谷先生が高校に教えにきてくださっていたのと、オープンキャンパスに行ってみて学校の雰囲気がいいなと思い、受験に至りました。

入学後は基礎演習で色々なコースを体験しました。マンガ・キャラクターコースでマンガを描く面白さ・可能性に気づき専攻することに。先生方からはコマ割り、ストーリーの組み方を通して、いかに自分の伝えたいことを人に伝えれば良いかを学ぶことができました。



私は「人の感情」を描くことをテーマにしています。自分はあまり感情的になれない性格なので、それをマンガにして表現することで、溜まったものを発散できるんです。

2年生になって作った「自惚れさせて下さい!」という作品では、先輩のことが只々好きな後輩の感情を、丁寧に描きました。この作品は KADOKAWA COMIC BRIDGE の月例賞で、奨励賞を受賞することができました。担当の方もつき、今後はプロで活躍できる作品を作っていきたいです。卒業後は研究生として引き続き金城で制作を続けていく予定です。自分のマンガを確立できるように頑張っていきます!



自惚れさせて下さい!



令和2年度 教員紹介

3月末日まで在職の3学科の専任教員をご紹介します(五十音順)

B ビジネス実務学科 (11名) BUSINESS														
					C 幼児教育学実務学科 (14名) CHILD									
A 美術学科 (8名) ART														

新型コロナウイルス感染症の対応

本学では学内に感染症対策本部を設置し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策について検討・対応を行ってきました。遠隔授業の実施、三密の回避、手指消毒や検温の徹底など教職員はもちろん、学生や保護者の皆様にもご協力いただきました。心より感謝申し上げます。今後もWithコロナの時代に対応したより良い学びを提供できるよう教職員一丸となって対策を講じていきます。今後ともどうぞご理解とご協力をお願いします。



美術学科学生がデザインした紙製マスク

応援食品プレゼント



7月17日(金)に白山市より、大学及び短大の留学生7人へ応援食品を寄贈していただきました! 家庭で余った食品を有効活用する活動「フードドライブ」により、加賀野地区の皆さんから寄付された食品です。

また、9月11日(金)には白山市の皆様から本学の一人暮らし学生のために、白山市産のお米をいただきました。

地域の皆様からの応援のお品に、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました!

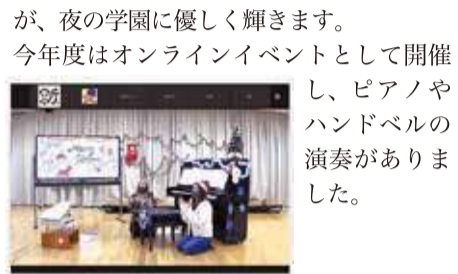


季節を感じる玄関ホールの飾りつけ
金城短大では季節を感じ、楽しむように学友会・環境委員の学生が定期的に玄関ホールに飾りつけを行っています。今年は七夕、ハロウィン、クリスマスに飾りつけを行い学園生活を彩りました。



新・金城イルミネーション2020

金城短大の冬の風物詩「金城イルミネーション」が12月14日から始まりました。太陽光で発電し発光する「ペットボトル」が、夜の学園に優しく輝きます。今年度はオンラインイベントとして開催し、ピアノやハンドベルの演奏がありました。



今年度はオンラインイベントとして開催し、ピアノやハンドベルの演奏がありました。



金城祭代替企画



今年で45回目を迎える金城祭は、新型コロナウイルスの影響を受け、残念ながら中止となりました。金城大学・金城大学短期大学部学友会執行部では、毎年多くの学生の笑顔や元気を発信する金城祭が中止となるため、その代替企画として、動画コンテンツ「届けよう! 私たちの元気・勇気・笑顔」を開催しました。これは、金城祭で発信するはずだった「元気・勇気・笑顔」を動画によって皆様へお届けしたいと考えたものです。学生や教員によって制作された34の動画は沢山の方にご覧いただき、私たちの「元気・勇気・笑顔」を受け取っていただけたと思います。どうもありがとうございました!

令和2年度 金城学園財務概要

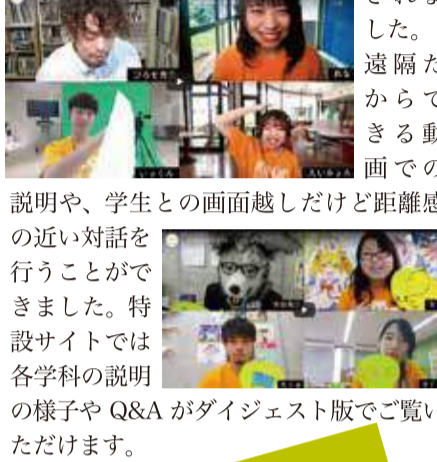
事業活動収支計算書		(単位:円)
科目	金額	
教育活動収入	3,791,201,863	
教育活動支出	3,664,461,657	
教育活動収支差額	126,740,206	
教育活動外収入	4,788,085	
教育活動外支出	17,366,151	
教育活動外収支差額	-12,578,066	
経常収支差額	114,162,140	
特別収入	17,873,376	
特別支出	1,899,267	
特別収支差額	15,974,109	
基本金組入前当年度収支差額	130,136,249	
基本金組入額合計	-189,036,684	
当年度収支差額	-58,900,435	

※詳しくは、金城学園ホームページ <http://www.kinjo.ac.jp/> をご覧ください

オンラインオープンキャンパス



今年7月のオープンキャンパスは感染症対策としてオンラインで開催されました。



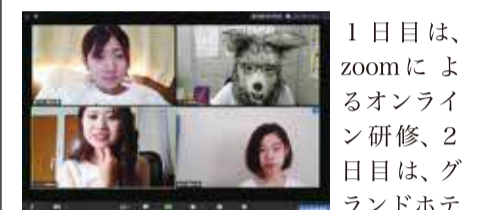
説明や、学生との画面越しだけど距離感の近い対話を行うことができました。特設サイトでは各学科の説明の様子やQ&Aがダイジェスト版でご覧いただけます。

金城短大(全体)



3学科合同学生リーダー研修「金短サミット2020」開催!

8月29日~30日 学生リーダー組織「Shinny Leaders」の3学科合同研修「金短サミット2020」を開催しました。発創デザイン研修室の富永先生をファシリテーターとして、「コロナ禍だからこそ、私たちの未来は私たちが拓く!」をテーマに学科を超えた交流を通じてそれぞれの分野での変化や未来について考えました。



1日目は、zoomによるオンライン研修、2日目は、グランドホテル白山での対面研修でした。感染予防対策を徹底した上で、和やかな雰囲気の中、対話が進みました。zoomによるオンライン研修は初めての試みでしたが、今後の新しいコミュニケーションスタイルへの対応としてとても良い経験になりました。



ご卒業おめでとうございます 令和2年度 第44回 卒業式

卒業式が令和3年3月16日、本学で開催されました。新型コロナウイルス拡大防止に配慮し、学生と教職員のみで、マスクの着用や検温、手指消毒を徹底しての開催となりました。



そんな中、幼児教育学科117名、ビジネス実務学科130名、そして美術学科65名の合計312名と、美術学科研究生8名が希望を胸に本学から巣立ちました。



全学科を代表してビジネス実務学科の若林夢実さんに卒業証書・学位記が授与され、理事長表彰は、幼児教育学科の行田瑞生さんに贈られました。卒業生一同は、喜びとともに分かち合いました。



貸借対照表		(単位:円)
科目	金額	
資産の部		
固定資産	10,066,424,052	
有形固定資産	9,330,078,540	
特定資産	670,582,686	
その他の固定資産	65,762,826	
流動資産	2,821,589,745	
資産の部合計	12,888,013,797	
負債の部		
固定負債	1,576,832,917	
流動負債	718,648,693	
負債の部合計	2,295,481,610	
純資産の部		
基本金	14,562,869,672	
繰越収支差額	-3,970,337,485	
純資産の部合計	10,592,532,187	
負債及び純資産の部合計	12,888,013,797	

新入生合宿研修

例 年4月の第2土日に、能登青少年交流の家で行っているビジネス実務学科「新入生合宿研修」は、今年度、新型コロナウイルスの影響があり、3月のうちに中止となっていました。従来型の入学式も行えず、4月6日から授業は始まったものの、その日の夕方には対面授業の中止が急遽決定



し、翌日からは学校に来ることもありませんでした。次に学校に集まったのが6月3日。全面対面授業が再開されたのは6月15日からでした。これまでの学校と違い、学友に会えない、顔を見てもマスクをつけていて判別もつかないといった状況で学校が始まり、学生同士、教員と学生の中にも、どこかこれまでと違う、期待と違う状態で、「大声で話すな」、「挨拶は小さい声で」、「近づきすぎな」と異様な雰囲気の中で、短大生活が始まりました。1年担任から新入生のためにもっと何かできるだろうという意見があり、7月4日に、基礎教養の補講として、クラス単位での「総当たりインタビュー」を行うことができました。マスクとフェイスシールドを付けてのグループワークとなりましたが、新入生合宿研修での目的の1つである友達ネットワークができたのはこんなに時間がたってからのことでした。

「登山」アウトドア演習 「火おこし体験」 「サイクリング」

例 年なら集中授業「アウトドア演習」は、1泊2日の白山登山と、同じく1泊2日で「火おこし体験」「サイクリング」を実施しますが、コロナ禍で日程変更や宿泊なしなど異例づくめとなりました。まず、8月31日に福井県の「取立山」にて、日帰り登山を実施



しました。残念ながら、山頂からよく見えるはずの白山が雲に隠れて見ることができませんでしたが、晴れていれば見えたはずの360度の雄大な眺めに思いを馳せながら、皆で昼食を楽しみました。例年より楽な行程であるはずですが、下山途中に、にわか雨が降ったり、ロープを使わなければならない難所があったりと意外と大変でした。9月18日・19日は「火おこし体験」と「サイクリング」です。鶴来にある、白山青年の家にて実施しましたが、同じく日帰り、しかも火をおこしてバーベキューができないなど、



こちらも例年にないものとなりました。唯一、いつも通りできたのが「サイクリング」です。白山青年の家で自転車を借り、全員が「道の駅瀨女」までを往復し、約40kmのサイクリングを楽しむことができました。

インターンシップ 研修

コ ロナ禍ではありますが、今年度も夏期インターンシップを実施し、春期についても実施が予定されています。夏期インターンシップには、例年80名ほどの学生が参加しますが、今年度は25名にとどまりました。それでも20社近い企業が受け入れを申し出てくれて、13社で30名が実施予定でしたが、その後新型コロナウイルス感染拡大の影響により2社で実施できず、5名が急遽中止になりました。このような状況の中にもかかわらず実施できたのは企業の方々の多大なるご協力があったこそだと思っております。現在、春期インターンシップに向けての研修を行っており、11社で23名が実施の予定です。やはり新型コロナの影響で実施日数を変更したり、実施前の生活状況を報告してほしいなど、学生たちはこれまでにない条件で臨まざる負えない状況もありますが、教室で学べないことを経験できたり、教室で学んだことを実践してみたりと、今後の社会人生活、就職活動に役立てて欲しいと考えています。



2020.04 → 2021.03

ビジネス実務学科1年生 模擬企業ガイダンス

1 月15日、1年生全員を対象とする模擬企業ガイダンスを行いました。この行事は、3月からの就職活動本番の前に、各業界を代表する地元企業等10社の採用担当者に来ていただき、実際の企業説明会や面接を体験するものです。学生達は事前準備として自己PRを考えて記入する他、話し方や大人への対応のしかたを学ぶなどの研修も受けて当日を迎えました。いつもと違った緊張感の中、上手く対応できた学生、できなかった学生など様々でしたが、採用担当の方々から頂戴した温かいアドバイスが、とても励みになったようです。就職状況が厳しさを増していますが、学生達には今回の経験をぜひ生かし、それぞれが希望する就職に向かってほしいと考えています。ビジネス実務学科としても、金城短大としても、学生達の就職および就職活動を全力でサポートしていきます。



秘書検定面接練習

本 学科の学生達は、ビジネス教養を学修するための目標として1年次に秘書検定の準1級にチャレンジしています。面接試験の対策講座では、準1級を取得した2年生による『チームヒシヨケン』のメンバー3人が筆記試験に合格した1年生を指導しました。面接試験には、あいさつや報告、状況対応の3つの課題があり、上級秘書にふさわしい対応が求められます。2年生は、準1級合格者としての経験を活かし、具体的なポイントを分かり易く一人ひとりに丁寧にアドバイスしていました。



また、入室から退室までが審査の対象に含まれるため、入退室の仕方や着席の仕方、服装や、髪型、メイク、靴などの身だしなみなども面接の流れに沿って何度も確認していただきました。本番さながらの緊張した雰囲気の中、一人ひとり個別のアドバイスをしっかりと受け止め、面接試験本番に向けて準備を進めました。



ビジネス実務学科

越野ゼミ

地域の特産物を取り上げ、PR活動を行う越野ゼミでは4グループがあります。コロナ禍で思うような活動ができない中、それぞれのグループが今できることを工夫して地域で活動した様子をご報告します。

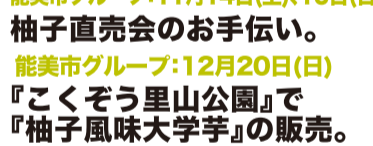
白山市グループ:11月14日(土)

『道の駅めぐみ白山』で『酒クッキー』販売。
これは小堀酒造の酒「石川門」をたっぷり使って“子どもも食べられるお菓子”をと開発したものです。



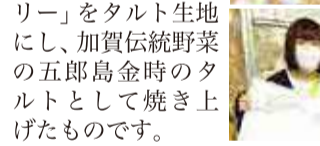
野々市市グループ:11月23日(月祝)

『にぎわいの里ののいちカミーノ』で『ヤーコンカップケーキ』の販売。
野々市市特産の健康野菜ヤーコンのスイーツです。



お菓子グループ:12月12日(土)

『道の駅めぐみ白山』で『マリーde五郎島金時タルト』販売。
これは森永製菓のビスケット「マリー」をタルト生地にし、加賀伝統野菜の五郎島金時のタルトとして焼き上げたものです。



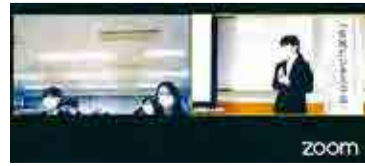
卒業生座談会

10 月23日(金)ビジネス実務学科1年生の「キャリアデザイン演習I」の授業で、卒業生による座談会を行いました。座談会のテーマは「私の職場、私の仕事」です。今回は4名の卒業生が登場し、現在の仕事内容や、やりがい、学生の内にしておくべきこと等を語ってくれました。学生時代には、「コミュニケーション能力を身につける」、「資格取得に励む」、「インターンシップに参加する」等が大切で、それぞれの経験を踏まえ具体的に語ってくれました。終了後の1年生のレポートには「インターンシップへ参加して企業を知りたい」、「コミュニケーション能力を向上させていきたい」等の前向きな言葉が沢山書かれていました。コロナ禍の中で、就職活動も難しくなっている面がありますが、これからそれぞれの就職に向かって一歩も二歩も前に踏み出そうとしている1年生にとって、その背中を押してくれる貴重な座談会となりました。



第10回「金城ビジネス学会」

2 月10日、毎年恒例の「金城ビジネス学会」が開催されました。金城ビジネス学会では、ビジネス実務学科の2年生が1年間にわたって行った研究活動の成果を発表します。例年なら産業界や地域の協力団体の方をおまねきして、1年間の集大成を見ていただいておりますが、コロナ禍を考慮し、学外の方にはZoomによるオンライン配信、1年生はYouTubeでの聴講という異例の形式で行われました。会場は発表者である2年生と指導にあたった教員のみでの参加でしたが、オンラインで金沢工業大学をはじめ、地域の方々のべ20名もの参加をいただき、さらに1年生もYouTubeで視聴しているという緊張感の中、32件の発表が行われました。発表が終わるごとにマイクなどの除菌、手指消毒、セッションごとに換気、さらには例年行っているポスターセッションは事前収録したポスター紹介動画に変えるなど、すべてが感染症対策を考慮したものとなりました。発表内容も前年に比べて学外との連携は減りましたが、それでも工夫を重ねて地域との連携をした発表もありました。4月からは、YouTubeで視聴した1年生が新2年生となってゼミ活動を行います。



「学び」続ける！ 「学次」につなげる！

2020.04→2021.03 幼児教育学科

KINJO 特化成果発表会

4月7日から約2か月間、1月は約3週間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休校となり、遠隔授業が行なわれました。入学式、体育祭、金城祭をはじめ、幼児教育学科が大切にしている新入生宿泊研修、学外活動、KINJO 特化のインターンシップなど、多くの行事や取り組みが中止となり、日頃の講義や演習も含め、アクティブに学ぶ学生の、澁淵とした姿を紹介する機会の少ない一年となりました。学生の学びを保障するため教員は新たな方法を探り、できることをやりながら、できないことをできる形に替え、学生は戸惑いながらもじつりと学んだ一年でした。実習を終え、2年間の「学びの集大成」に臨んだ2年生の姿を紹介します。



ミュージック フェスティバル 収録

1月23日に予定されていた「ミュージックフェスティバル」は、2年間の学習成果を発表する場でした。今年度は地元白山市の松任文化会館ピアノへ会場を移し、子どもたちや保護者の皆さま、地域の方々とよりいっそう楽しめる会を目指し準備を進めてきました。感染症対策により、地元の幼稚園・こども園や中高生とのコラボ企画などをあきらめ、演目も少人数編成へと変更し、無観客でのホール公演をweb公開するなど、公演の方法を模索してきましたが、感染拡大状況が憂慮され、やむなく公演を中止することになりました。代わりに2月16、17日に、学内での発表を録画することができました。クラスごとの発表となりましたが、練習不足をチームワークで補い、幼児教育学科らしい集大成となりました。2年生にはDVDを配布し、ダイジェスト版をwebで公開しました。



2年生の特別強化プログラム「KINJO 特化」では、90分授業が3コマ連続で生まれ、特化によって内容・方法は多様ですが、90分の枠に縛られない柔軟な授業展開や、学外での「インターンシップ」なども可能です。例年なら「インターンシップ」として保育園・幼稚園・こども園、子育て支援施設、絵本館、障害者施設など様々な現場へ出かけ、多様な人たちと関わり、記録をもとに振り返りや対話を重ねながら学びを深めています。しかし、今年度はその「インターンシップ」をほとんど実施することができず、特に表現系の特化では様々な制約もあり、授業計画そのものの大幅な変更や工夫を迫られました。2月には、各特化ごとに成果発表会が行われました。1月に3週間の休校期間があり、発表に向けての時間が十分に確保できず苦労しましたが、学生たちは、自分たちの学びをカタチにすること、そして、1年生に伝えることを励みに頑張りました。発表会当日は、1年生が次年度履修する特化の発表会にそれぞれ参加し、2年生から多くのことを学ぶとともに2年目の学びに臨む自覚を深めました。

乳児保育

保育園の乳児保育室でのインターンシップは、10月、11月に2回だけになりましたが、コロナ禍の中でも学生を受け入れてくださる園があり、感謝の気持ちでいっぱいです。観察が中心となった学生たちは、じっくりと乳児の行動から情動を読み取ることができました。また、「アタッチメント」について日頃できない文献研究にも取り組みました。2月10日の成果発表会では、「乳児の情動の読み取り」と「アタッチメントの場面をとらえる」をテーマに代表10名がエピソードを発表し、4人の助言者からコメントをいただき学びを深めました。



障害児保育

例年なら、インターンシップで配慮が必要な子どものかかわりを記録し、カンファレンスで意見を出し合いながらまとめる学修を中心にしてきましたが、今年度は実施できませんでした。代わりに、実習でのかかわりで配慮が必要な子どもをピックアップしてカンファレンスをし、2月10日の成果発表会で24名が発表しました。また「自閉スペクトラム症」「重い障害を生きるということ」などの新書を課題として読み、内容を深め、今後につながる学びになりました。



造形表現

インターンシップが実施できないことに加え、演習・実技形式の授業を遠隔授業で行なうこと自体の難しさもありましたが、いつもより時間がゆったり流れ、少し意識すれば普段気に留めないコトを見つけることができると発想を変え、「感じる」ことを重視した課題、「子どもが絵を描くとき」を1冊読破する課題などに取り組みました。また、後期の授業内容「絵本づくり」を前期に行ない、一人ひとりが自分のペースでじっくりと、構想・制作に時間をかけた結果、心のこもったとてもよい絵本が生まれました。後期は多様な教材研究に意欲的に取り組み、手作り絵本展と2月10日のポスターセッションでそれらの成果を発表しました。



音楽表現

歌唱や管楽器などの演奏ができないことは、とても辛いことでしたが、様々な工夫をして取り組みました。マーチングではキーボードとドラムだけで曲を演奏し、フラッグを活用して動きの練習をしました。ピアノの個人レッスンでは基礎技能の向上を目指しました。また、パネルシアターの実演の仕方や、ミュージックベルの演奏に取り組み、「新・金城イルミネーション2020」で披露しました。2月10日の成果発表会では演奏会形式でピアノの発表を行ない、ホールでのミュージックフェスティバルは中止となりましたが、学内でマーチングとミュージックベルの収録をしました。



2月10日から14日、21世紀美術館1F市民ギャラリーAにて卒業制作展を開催いたしました。7コースの2年生68名と、研究生9名の力作が並び、多くの方にご覧いただきました。冬の寒さがやわらぎ春を感じる中、2,117名もの方々にお越しいただきました。この場を借りてお礼申し上げます！



卒業

制作展

金城大学短期大学部 美術学科



第44回

2020.04→2021.03 美術学科

千代女アート Project in 2020

白山ロータリークラブ様との共同プロジェクトとして【「千代女と白山市をキーワードに新しい地域文化を創造する」プロジェクト in2020】が行われました。この企画は、新しい千代女の創造を通して白山市の地域発展を目指すものです。

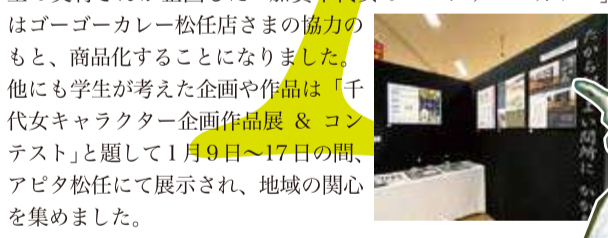


7年目を迎えた本プロジェクトの今年の課題は、これまでの資産である18の千代女キャラクターを用い、学生それぞれが地域の発展を盛り上げることです。



11月14日には松任の聖興寺でゲーム映像コースの学生が作ったプロジェクションマッピング映像に合わせてプロギタリストの加々美 淳さんがギターの即興演奏をしました。また、デザイン・ビジネスコース2年生の奥村さんが企画した「加賀千代女のゴーシチゴーカレー」はゴーカレー松任店さまの協力のもと、商品化することになりました。

他にも学生が考えた企画や作品は「千代女キャラクター企画作品展 & コンテスト」と題して1月9日～17日の間、アピタ松任にて展示され、地域の関心を集めました。



SDGs x 美術

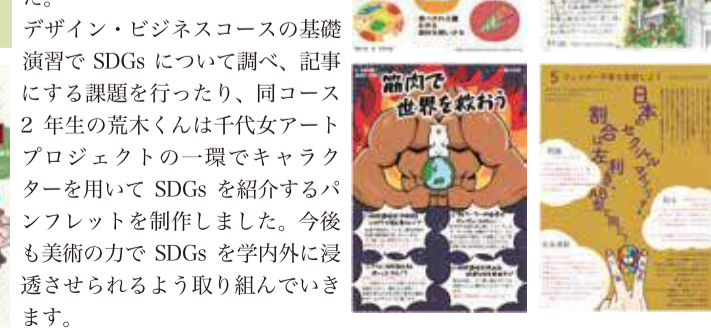
本学でSDGs活動浸透具合の現状把握と学内啓蒙活動を中心に「SDGsの認知向上のための地域で始めるSDGsの実践」活動が始まりました。これは、7月大学コンソーシアム地域課題研究ゼミナール支援事業（地域共創支援枠）に採択されたものです。



初年度である2020年度は、美術学科を中心に授業で取り組みました。デザイン・ビジネスコースの基礎演習でSDGsについて調べ、記事にする課題を行ったり、同コース2年生の荒木くんは千代女アートプロジェクトの一環でキャラクターを用いてSDGsを紹介するパンフレットを制作しました。今後も美術の力でSDGsを学内外に浸透させられるよう取り組んでいきます。



デザイン・ビジネスコースの基礎演習でSDGsについて調べ、記事にする課題を行ったり、同コース2年生の荒木くんは千代女アートプロジェクトの一環でキャラクターを用いてSDGsを紹介するパンフレットを制作しました。今後も美術の力でSDGsを学内外に浸透させられるよう取り組んでいきます。



松任地域美術演習



9月1日、美術学科1年生は『地域美術演習』という夏季集中授業に取り組みました。美術の力を使って、地域の魅力を社会に伝えることが課題です。今年も、金城大学短期大学部からほど近い、松任駅周辺取材しました。(マンガ・キャラクターコースは、宝達志水町取材) また、制作した作品を展示する「地域美術演習成果展」を11月8日(日)から11月23日まで白山美術館で開催し、美術学科1年生80名が自らの個性を發揮しました。



18th KINJO ART SHOWCASE

3月3日、金沢21世紀美術館シアター21において、卒業制作ファッションショー「18th KINJO ART SHOWCASE」を開催しました。ファッション専攻学生の2年生2名、1年生3名がドレスなどやワンピースなどを、染色専攻の4名が浴衣を発表しました。美術館のガイドラインに従い、関係者のみでの開催となりましたが、作品を発表できる喜びに、学生は充実した表情でした。



令和2年度 美術学科受賞・採用・連載一覧

第76回現代美術展	奨励賞 入選	山下桃子(2年) 山森愛央(2年)、清水さよこ・西谷百加(1年)
第26回マスターズ大東京展	佳作 秀作	岩崎つばさ・中野航太郎(研究生) 口村葵・小川美羽・酒井里歌(2年) 中野航太郎(研究生)
第25回七尾日創展	中能登町長賞 中能登町教育委員会賞 北陸放送社長賞 テレビ金沢社長賞 たち画材賞	岩崎つばさ(研究生) 酒井里歌(2年) 小川美羽(2年) 口村葵(2年)
第52回国際公募 新院展	優秀賞 優秀奨励賞 秀作賞	酒井里歌(2年)・岩崎つばさ(研究生) 小川美羽・口村葵(2年生) 中野航太郎(研究生)
第15回白山日創展	万願寺美術館館長賞 特選 たち画材賞 奨励賞 努力賞	岩崎つばさ(研究生) 中野航太郎(研究生) 小川美羽(2年) 口村葵(2年) 酒井里歌(2年)
第44回公募日創展	特選 奨励賞	岩崎つばさ・中野航太郎(研究生) 小川美羽・口村葵・酒井里歌(2年)
千代女キャラクター企画 作品展 & コンテスト	受賞	吉田卓、忠田すみれ、松本美穂、酒井善奈、田中美有、藤本萌雅、七瀬聖孝、橋本みなみ、和田あづな、荒木拓望、奥村真衣、油画・日本画コース、染色・陶芸コース、インテリア・コーディネートコース、ゲーム・映像コース(2年生) 山田遥夏(2年生)
第11回ポストスターグランプリ	株式会社タイガ賞 入選	山田遥夏(2年生) 福田菜々花、ヨシ・ギョムモ(2年生)
第47回石川県デザイン展 学生部門	奨励賞	平野こゆき(2年生)
白山市SDGs啓蒙リーフレット	採用	荒木拓望(2年生)
ゴーカレー松任店限定メニュー 「千代女のゴーチゴーカレー」	採用	奥村真衣(2年生)
NOTOHIBAKARA BAKERY アートショッププロジェクト	採用	興川琴音、若松夏音(1年生)
令和3年度石川県民大学校 ポスター等図案	最優秀賞 入賞	清水柚花(1年生) 有田水紅(1年生)
コミックブリッジ月例賞 10月期	奨励賞	鯨岡ケイ(2年生)
月刊Gファンタジー月例賞 ①月号	佳作	黒井まりも(研究生)
第77回金沢市工芸展	金沢市長奨励賞	柏 揚羽(2年生)

走り続ける金城短大卒業生のご活躍やメッセージをご紹介します

KINJO RUNNER



制作/田口ヒロト (マンガ・キャラクターコース)
4コマ漫画のコーナーは、美術学科学生の有志によって制作されています。同コースでは遊学館高等学校ホームページ「遊Yuコミック」での4コマ漫画の定期連載やイベントでの似顔絵描き、加賀千代女をテーマにしたアニメーション制作 (YOUTUBEにて配信) 等、幅広く活動しています。

図書館の一般開放

白山市民 (18歳以上) の方であれば本学図書館の資料が閲覧できます。ご利用可能な日時は主に土曜日 (10時~14時) ですが、短大行事や点検作業等ありますので、詳しくは図書館 (076-276-4412) までお問い合わせください。

06
ハイアットセントリック金沢
土佐 萌歌
(2020年卒業)



金沢の新しいホテルの顔となる

突 然、元の担任の先生からLINEで連絡が来て、『Kinjo Walk』の卒業生を取り上げるページに原稿を書いてほしいと依頼があり、少し驚きましたが、現在の自分の様子を整理したいとも思っていたので、受けることにしました。

私は現在、ハイアットセントリック金沢でレストランの受付担当として働いています。

主な業務は、ランチ・ディナーの予約管理、電話対応、ご来店いただいたお客様のご予約のお席への案内等です。

レストランの受付として、お客様からのご質問やご要望にお応えできるよう様々な情報を頭に入れておくことが必要なので、覚えることは大変多いですが、とても楽しく仕事をさせてもらっています。

短大生活で学んだ文書の作成や敬語、電話対応、ExcelやWordなどが今の仕事にとっても役に立っています。まだ不慣れな面や学び足りない部分もありますが、上司や先輩にご指導いただいたり、自分から質問をしたりして、分からないもの



を分からないままにしない事を心掛けています。

短大時代の思い出はいろいろあるのですが、印象深いのはShinny Leadersの活動です。私たちが3期目くらいだったと思いますが、1年生の5月から活動が始まりました。選抜される面接で、志望動機や意気込みなどを聞かれ、緊張からどんな風に答えたかまでは覚えていませんがビジネス実務学科1年の10人に選ばれたのは嬉しかったです。1年目は、頼もしくも



優しい先輩たちについていくだけで精一杯でした。それでも研修やオープンキャンパスの時にたくさん話すことができ吸収することが多かったと思います。また学科を越えて、幼児教育や美術学科にも友達ができただけは財産だと思います。

活動を通して、先輩たちからはたくさん怒られ、たくさん励まされ、一歳しか違わないのに、なんでこんなに大人なんだろうと涙を流した時もありましたが、いつしか憧れる存在になっていました。

いざ自分が2年生になったときには、先輩たちのようにできるか不安になることもありますが、よき仲間たちと一緒に、自分自身の成長のため、また後輩たちに文化を伝えていくために一生懸命活動したのを感じています。



普段はあまり前に出て仕切るタイプではないのですが、Shinny Leadersの時は先輩たちがしてくれたことを思い出しながら、1年生を引っ張っていかねばいけないとの思いで積極的に前に出ていくことを心掛けていました。

私たちのShinny Leadersに対する思いが後輩たちにどのように伝わったかまでは分かりませんが、学校行事の一つ一つに真剣な思いで取り組んでいた気持ちが伝わっていただければいいなと思っています。もっと後輩と話す時間があれば良かったなど、社会人になってから思います。



あともう一つは、学校のパンフレットの表紙になったことは、少し恥ずかしいですけど良い思い出です。自分が表紙のパンフレットを高校生が見てくれているんだと思うと、少し誇りにも感じています。

これ以外にも、クラスの親友と体育祭、文化祭、国内研修旅行と多くの思い出を作ることができました。その親友たちとは今でも職場が同じ人もいます。

このような短大時代の経験を通して、現在の私が仕事でやりがいを感じることは、自分が受けたご予約のお客様から「本当にありがとう」と感謝の気持ちを伝えられた時です。レストランのご利用の用途は様々ですが、当日どのような気持ちでレストランにお越しいただくか、お客様の気持ちになってご予約を承り、一つ一つのご予約に抜かりなく、その日が思い出に残る素敵な日になるように管理しているの、感謝の一言だけでこの仕事をしていて良かったと思えます。

年間 PICK UP //

おいしいトコどり♪

とは金城大学短期大学の公式学生ブログです。各学科の授業やイベント、日々の雑記などのキャンパスライフを学生ブロガーが日々お届けしています。その中から選りすぐりの記事をご紹介します♪

思い届け！九州豪雨赤い羽共同募金

おはようございます★こんにちは もしくはこんばんは ばんぶー@ORANGEです。 食堂前や短期大学部棟前で九州豪雨の募金活動を行なっていました。 私も刑部@ORANGEさんと募金をしてきました。九州をはじめとする被災した各地の1日も早い復興を願っています。



デザイナーへの第1歩！ アートショッパーデザイン企画

ばんぶー@ORANGEです。 デザイン・ビジネスコースの授業で加賀木材さんが運営されているウッドスタイルカフェとNOTOHIKAKARA BAKERYを訪れました！ 「山への恩返しプロジェクト」の一環として、ペーカリーのショッパーデザイン企画のため、現地で研修、見学させていただきました。



楽しいレクリエーション

こんにちは！ Y@ORANGEです！ 最近雨の日が多いなあと感じています。 学校が再開してから約1ヶ月！ 新型コロナウイルス感染症も落ち着いた今日この頃ビジネス実務学科の1年生を対象に、基礎教養の補講、「レクリエーション」の活動を紹介します。



【七夕完成】アマビエ様降臨？！

こんにちは！ ほっぺ@ORANGEです。 今年も、美術学科の環境委員が総出で七夕の飾り付けを行いました。密を避けつつ賑やかな雰囲気の中、七夕飾りが完成しました！



初兼六園ガイド！

こんにちは！ じゃがりこ@ORANGEです！ 今回は東京から修学旅行で金沢に来た中学生に対して、兼六園のガイドを行いました！ 私は人生で初めてのガイドをすることになるので上手くできるか不安でした！



秘書検定へ進級合格に向けて～

こんにちは！！ ほっぺ@ORANGEです。 今回は秘書検定準1級の面接試験についてレポートします！！ 面接は、上級秘書として振る舞う意識が求められ、身だしなみや姿勢に気を使います。



GONパンの秘密に迫る！ 権田先生にインタビュー

こんにちは！ ネット@ORANGEです。今日は権田先生にインタビューしたいと思います。権田先生は染色コースの先生なのですがパン作りがとても上手らしいのです！ その名もGONパン！！ (みなさんも覚えてくださいね！)



新発見！ こどもの美術

こんにちは！ ほっぺ@ORANGEです。 今回は「こどもの美術」の授業についてお話したいと思います。この授業では紙に自作した色紙を貼りつけ、各自自由に様々な作品を作りました！

